

事務事業名		交通安全対策事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	03:安全なまちづくりの推進			事業期間		予算科目			
	施策名	09:交通安全対策の推進					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項
	基本事業名	01:交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進			01	02		01	07	02
根拠法令										
所属	部課名	生活福祉部市民生活環境課								
	係名	交通安全係	電話	27-3111						
			内線	127						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)			
・交通指導員を設置し、広く市民に交通安全思想の普及、交通安全の保持のために必要な指導を行う。 ・大船渡市交通安全対策協議会を組織し、交通安全確保と円滑化に関し、関係機関、団体等と緊密な連携を図り総合的・効率的な対策を推進する。 大船渡市交通安全対策協議会の開催 交通安全教室・講習会等の開催 街頭指導及び広報活動 交通安全市民大会の実施 交通安全コンクールの実施 交通安全推進協力員、シルバー交通安全推進員の委嘱 交通安全モデル地区の指定 交通安全施設の整備 交通災害共済事務 事業費は、交通指導員への報酬費、被服費、市民大会開催費用、啓発看板の作成(委託)などに支出される。							総投入量(千円)	事業費	国庫支出金	
								財源内訳	都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
							事業費計(A)	0		
							人件費	正規職員従事人数		
								延べ業務時間		
								人件費計(B)	0	
								トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 交通指導員延べ出勤回数	日
・交通指導員による街頭指導、交通安全教室など		イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数	件
・大船渡市交通安全対策協議会による交通安全教育の充実・強化と交通安全思想の普及		ウ	
上記事業概要の から のとおり		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		名称	単位
前年度と同様		カ 市の人口	人
		キ 交通指導員数	人
		ク	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民、交通安全関係機関		名称	単位
		サ 座談会、研修会参加延べ人数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		シ 街頭指導参加人数	人
交通ルールの遵守など、交通安全意識を高めてもらう。		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・交通安全や交通事故に対する意識や備えがある。			
・交通ルールが守られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	2,817	2,420	2,347	2,268	2,200
		地方債	千円					
		その他	千円	592	717	1,696	321	321
		一般財源	千円	10,058	11,379	6,947	7,839	7,800
		事業費計(A)	千円	13,467	14,516	10,990	10,428	10,321
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,000	3,600	3,600	3,600	3,600
		人件費計(B)	千円	8,000	14,400	14,400	14,400	14,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	21,467	28,916	25,390	24,828	24,721
活動指標	ア	日	6980	7401	7618	7292	7200	
	イ	件	232	248	247	146	150	
	ウ							
対象指標	カ	人	43209	42575	42158	41684	42200	
	キ	人	50	49	49	49	50	
	ク							
成果指標	サ	人	14623	13430	19874	10205	10000	
	シ	人	2760	2916	2772	1249	1200	
	ス							

事務事業ID	0060	事務事業名	交通安全対策事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等  
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
交通事故による、物的、人的損害が多く、その減少を図るため。また、県が開催する交通安全コンクールにおいて、当市の活動内容が高く評価されコンクール第1位を獲得した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
昭和40年～50年代は小学生の犠牲や若年ドライバーの暴走運転が原因の事故が多かったが、最近が高齢社会に伴い、高齢者の交通事故が増えている。交通安全コンクールは当市が10年連続1位を受賞後「高齢者交通安全コンクール」に名称を改め続行している。コンクールに関しては、平成17年10月分からルールが大きく変更になり人口の多い自治体が圧倒的に有利になったものの平成19年まで通算20年連続1位の記録を続けた。(平成20年は第3位)

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
20年連続1位は素晴らしいという意見がある一方、コンクールのための交通安全活動になっているとの批判が聞かれた。交通安全活動は良いことである。どんどんやるべし、との声がある一方で、活動が活発すぎてついでにいけない、やりすぎであるとの意見もあり、平成20年度に街頭指導の回数等事業を大きく見直し、参加者の負担の軽減を図った。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 安全で安心して暮らせるまちづくり政策に合致する。一方で、コンクールで上位入賞を目指すのは、政策とは無関係。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 交通安全対策基本法において、交通安全の確保は、国及び地方自治体の責務であると謳われている。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 交通安全や交通事故に対する意識や備えをもち、交通ルールが守るべき対象は市民であり、その取り組みには、交通安全関係機関が必要であるから。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 交通安全活動は県内のどの市町村よりも活発に行っており、人身事故、物損事故の件数が減少している。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 交通マナーの悪化を招き、交通事故の増加につながる恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 交通事故防止は、交通工学 交通警察 交通安全啓発活動の3つによってなされていると通常考えられている。3つのバランスが重要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 交通安全活動は今まで同様実施するものとするが、交通安全コンクール対策は削減しても事故の増加につながると思わない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 交通安全コンクール対策にかかる業務時間を削減できる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 道路に出て通行する歩行者を含めたほぼ全員が、交通安全活動の対象者であり公平である。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成20年度は、交通安全対策事業として取り組んでいる夜間街頭指導などの各種街頭指導の回数等を見直し、季節運動期間中に重点的に取り組むことで効率的な活動とした結果、交通事故発生件数、交通事故死傷者数ともに前年と比較して大きく減少した。その原因は、効率的な活動を行ったことで、集中した交通安全活動が図られた成果であると考えており、今後も同様に効率的、効果的な交通安全活動を実施するものとする。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>安全なまちづくり政策を推進するため、交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進は不可欠であり、今後も同様の取り組みが必要である。平成20年度は各種街頭指導の回数等を見直したが、次年度以降についても事業の見直し、整理を行うとともに交通指導員の活動範囲等の見直しを図るなど有効性、効率性の改善を図っていきたい。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長	
-------	----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>平成20年度は、交通安全対策事業として取り組んでいる夜間街頭指導などの各種街頭指導の回数等を見直し、季節運動期間中に重点的に取り組んだ結果、交通事故発生件数、交通事故死傷者数ともに前年と比較して大きく減少した。その原因は、効率的な活動を行ったことで、集中した交通安全活動が図られた成果であると考えており、今後も同様に効率的、効果的な交通安全活動を実施することとする。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>安全なまちづくり政策を推進するため、交通安全意識の啓発と交通安全教育の推進は不可欠であり、今後も同様の取り組みが必要である。平成20年度は各種街頭指導の回数等を見直し、大きな成果を上げたことから、次年度についても継続して取り組みを進めていきたい。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------